

キトラ古墳壁画展の展示室

大変盛況の内に幕を閉じた「キトラ古墳壁画四神」の展覧会でしたが、展示室の壁面の色が塗り分けられていることにお気づきになられた方はいらっしゃるでしょうか。通常では常設展が行われている第一展示室ですが、今回のキトラ古墳特別展示のために3月に入ってから閉鎖をおこない、展示ケースや遺物の移動に加えて、キトラ特別展をおこなうために必要な壁面を設置し、短期間で姿をガラリと変えることになりました。

キトラ展のために設置された壁面をみると、黄、青、黒、白、赤の5色で塗り分けられていることに気がきます。これは、五行思想による塗り分けを、展示室の壁面に表現したもので、部屋の中心にあたる壁は黄色、青龍のケースの前は青、玄武の前は黒、白虎の前は白、朱雀の前は赤といったように壁が塗り分けられています。皆様に、四神の世界観をより視覚的にご理解いただけるためにこのような配色としましたが、いかがでした

でしょうか。

キトラ展が終わった現在では5色の壁面も撤去が始っており、少しさびしいような気もしますが、常設展示に復帰するべく急ピッチで作業を進めています。そして7月からは、皆様にこれまで通りの飛鳥の歴史を紹介する常設展示を御覧いただける予定ですので、どうぞ今しばらくお待ちください。

(飛鳥資料館 成田 聖)



特別展示中の第一展示室